

## (4) 卓球

### 1 競技方法

- (1) 競技種目は、一般卓球とサウンドテーブルテニス（略称「STT」）とする。
- (2) 試合は、各ブロックのリーグ戦方式で行う。
- (3) 各ブロックは5名以内とし、原則として、同一の障がい区分および年齢区分の選手で構成する。
- (4) 出場選手の少ない障がい区分および年齢区分では、別の障がい区分および年齢区分の選手と併せて同一ブロックを構成することがある。ただし、順位の決定、記録の認定および表彰は、それぞれの障がい区分および年齢区分別に行う。
- (5) 一般卓球の競技用具、競技条件等
  - ① ブルーまたはグリーン卓球台、使用球は、公益財団法人日本卓球協会公認球 40 mm ホワイトとする。
  - ② 1 ゲームの勝敗は、11 ポイントを先取した競技者を勝ちとする。ただし、両競技者の得点が10 ポイントに達した後は、2 ポイントの差をつけた競技者を勝ちとする。
  - ③ 1 マッチは5 ゲームからなり、3 ゲームを先取した競技者を勝ちとする。
- (6) STTの競技用具・競技条件等
  - ① グリーンの卓球台、ボールは直径が 40 mm～40.6 mmの球体で、その中に金属球 4 個が入った、総重量 3.6 g～3.8 g とする。
  - ② 1 ゲームの勝敗は、11 ポイントを先取した競技者を勝ちとする。ただし、両競技者の得点が10 ポイントに達した後は、2 ポイントの差をつけた競技者を勝ちとする。
  - ③ 1 マッチは5 ゲームからなり、3 ゲーム先取した競技者を勝ちとする。
  - ④ 主催者が用意したアイマスクを着用する。

### 2 服装等

- (1) 競技を行うときは、競技用の服装（トレーニングシャツ等）を着用する。
- (2) 義肢や松葉杖等を使用する選手は、特に支障がない限り、接触面にあてがう布やカバー等を用意すること。

### 3 選手招集

- (1) 一般卓球競技、STTの招集所は、実施要綱に定める会場入口付近とする。
- (2) 選手招集時刻は試合開始10分前とする。
- (3) 選手招集時刻に遅れた選手は、原則として棄権したものとみなし、試合に出場できない。

### 4 その他

- (1) この要領に定めるもののほか、卓球部会において、競技実施に関し申し合わせ事項を設けることができる。
- (2) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取り扱いは、主催者において別途定める。